



**グローバルビジネスコース（GBC）レポート**

令和5年5月第6号

**1. GBC留学生の概要**

令和4年9月に入学した留学生39名は、9月16日に兵庫大学国際学生寮で秋学期入学式を行いました。今回、新たに3か国（カザフスタン、モザンビーク、リトアニア）からの入学生をお迎えしたことで、現在、GBCに在籍している留学生は21か国・1地域から計151人となっています。男女別では男子学生81名、女子学生70名、地域別ではアジアの割合が依然高い傾向があります。

留学生在籍者数

国・地域名	2019年9月入学	2020年9月入学	2021年9月入学	2022年9月入学
	在籍者数	在籍者数	在籍者数	在籍者数
バングラデシュ	2		1	
ベラルーシ			1	
ブータン	1			
カンボジア			1	
中国	1	2		
インド	1	1	4	
インドネシア	7	6	5	11
マレーシア		3	1	
メキシコ			1	
モンゴル			2	2
パキスタン		1	3	1
フィリピン		1		
ルーマニア	2		3	2
タイ	14	4	10	9
トルコ	1			1
ベトナム	6	6	7	7
ザンビア		1		1
ジンバブエ			1	
台湾	5	4	3	2
カザフスタン				1
モザンビーク				1
リトアニア				1
計	40	29	43	39

令和5年2月15日現在

※地域別留学者数及び割合：アジア（東南アジア98名（64.9%）、東アジアは21人（13.9%）、南アジア15人（9.9%）、中央アジア3人（2%））、アジア以外ではヨーロッパ9人（6%）、アフリカ4人（2.6%）及び北アメリカ1人です。

また、協賛企業からのご寄附により設置している「GBC留学生支援基金」から、今年度

も9月入学した1年次生に対して、一人当たり10万円を「GBC留学生スタートアップ奨学金」として支給し、入学当初の修学に必要な経費の一部に役立てており、令和4年11月に対面で奨学金給付式を行いました。



2022年度秋学期入学式（令和4年9月）



留学生スタートアップ奨学金給付式

## 2. 授業関連

### 1) 日本文化体験について



令和4年11月11日、GBCの留学生が北伊川谷高校を訪れ、日本の伝統的な書道用紙である「和紙」の作り方を学びました。学生はそれぞれ実際に自身で紙作りを体験したほか、日本の折り紙についても学びました。

### 2) セミナーの授業風景

#### ① 座禅

令和4年9月29日、ゼミ授業で、京都の妙心寺を訪れました。学生は、座禅について学び、実践するとともに、住職から言語と文化についての話を伺うことで、普段何気なく使っている日本語の意味や、西洋と日本の文化の違いの本質について、深く考える貴重な機会になりました。昼食で、精進料理を堪能した後、石庭と「吾唯知足(われただたるをしる)」と彫られた「知足の蹲踞(つくばい)」で有名な龍安寺を訪れました。



#### ② ベーカリー体験



令和5年1月17日、GBC1年次の授業で、ピュラトスジャパンの大阪イノベーションセンターを訪問し、パン製品の焼き上げ工程を見学しました。ピュラトスジャパンは、阪急ベーカリーとNOUENの協力を得て、丹波篠山市特産の丹波黒枝豆の食品ロス削減プロジェクトとして、黒枝豆を使った新しいパンのアイデアを考案しているとのことでした。

イノベーションセンターでは、ピュラトスが開発途上国のカカオ生産者を支援するために独自に開発した研修・品質管理プログラム「カカオ・トレース」について説明を受けたほか、ピュラトスジャパンと阪急ベーカリーが開発した新しいパンの試食や、カスタマイズした黒枝豆のピザやパン作りのプロセスを自らの手で体験する有意義な時間となりました。

製パン業界では何を一番大切にして商品開発しているのか、どのような事業活動を行っているのか、その商品から生まれる消費で農業生産者にはどのような利益が得られるのかなど、多くのことを学び、このビジネスへの理解をより深めることができました。



### 3. イベント関連

#### 1) クリーンアップイベント



令和4年11月30日夕方、約15人のボランティアGBC学生がクリーンアップイベントに参加しました。これは、キャンパス周辺のコミュニティへの貢献の一環として、レジデントアシスタント(RA)とGBC事務局が主催する定期的なイベントです。学生は2つのグループに分かれて、神戸商科キャンパス周辺の街路を清掃しました。GBC留学生が日本人学生と一緒に社会貢献活動を行うなかで、個人による環境保護活動の大切さも学んでいます。

#### 2) 留学生のためのチャリティーイベント

令和4年10月28日、国際寮に住む留学生のためのチャリティーイベントを開催しました。国際学生寮(i-Square)1Fで大学教職員などから寄贈された物品を配布するイベントで、ほとんどの品物があっという間に無くなりました。

このチャリティーイベントは今回が初めての開催でしたが、留学生からは大変好評であったため、今後も留学生支援とSDGsの一環として(主に12の目標)、毎年開催していきたいと考えています。



#### 3) 学生交流会



令和4年12月23日、国際学生寮(i-Square)1Fで学生交流会を開催しました。この交流会は、レジデントアシスタント(RA)と国際学生寮担当教員が、寮生同士の交流を深めるために企画したもので、COVID-19の予防措置を取りながらではありましたが、3年ぶりに開催できた交流イベントで、多くの寮生が参加しました。

イベントでは、歌や楽器演奏に自信のある寮生がパフォーマンスを披露し、会場が一体となって楽しんでいる姿は、本当に感動的でした。

## 4. コンテスト関連

### 1) GBC 写真コンテスト 2022

グローバルビジネス研究科に在籍する大学院生と GBC 学部生を対象に、毎年恒例の写真コンテストを開催しました。令和4年8月15日～10月15日まで、「キャンパスライフ」、「寮生活」などのテーマから1人合計3枚まで提出できる応募条件で募集を行った結果、10名の学生から26枚の応募がありました。

GBC 事務局内での投票により順位を決定し、12月7日に表彰式を行って、上位3名の方に賞状と粗品、参加者全員に参加賞が贈られました。応募のあった写真は、参加学生や国際交流センター来訪者に広く見ていただけるよう、国際学生寮(i-Square)1Fに掲示しました。



### 2) ビジネスコンテスト



優勝者集合写真

令和5年1月18日、授業の一環で教員が企画したビジネスプランコンテスト「VENTURinno2023」が実施されました。令和4年度にスタートし、今回が2回目となります。

今回は、「スタートアップによるコロナ後の経済復興」をテーマに行い、9チームがユニークなアイデアを持ち寄りました。行政、投資家、企業経営者などから5名の方々による審査が行われました。コンテスト後、審査員の方々には、参加学生との昼食の場に参加していただき、それぞれのビジネス・アイデアに対してアドバイスをいただきました。

## 5. 国際交流関連

### 1) 多言語教室

令和4年12月13日から令和5年1月26日までの間、毎週火曜日と木曜日に、国際学生寮(i-Square)の1Fで無料の「多言語教室」を開催しました。

このプログラムは、地域社会への貢献を目的に企画したもので、GBC とグローバルビジネス研究科に在籍する大学院の留学生が講師を務め、1グループ1～3人の少人数制で、英会話や留学生の母国語を学ぶことができます。

今年度から始まった新たな取り組みとして、受講者は英語と担当する留学生の出身国の言語の両方の言語を学ぶことができます。受講者と留学生たちから楽しい時間を過ごすことができたという感想をいただき、大変好評でした。



## 2) 兵庫高校 International Day 留学生交流会

令和5年2月10日、GBC 留学生が県立兵庫高校主催の International Day 留学生交流会に参加しました。

兵庫高校の生徒47名（1年生30名、2年生17名）とGBC 留学生15名が、生徒3～4名に対して留学生1人のグループに分かれて、簡単なトピック（好きな食べ物、苦手な科目、ユニークな先生など）から社会問題や環境問題などをテーマに多文化交流を行いました。留学生、高校生の双方にとって有意義なイベントでしたが、特に、高校生から、「英語を話すことに少し自信を持てるようになった。」、「学習・異文化理解への大きなモチベーションになった。」、「留学生の皆さんがとてもフレンドリーで、リラックスした雰囲気の話ができた」などの感想をいただき、高校生の国際意識の高揚の貢献する良い機会となりました。



なモチベーションになった。」、「留学生の皆さんがとてもフレンドリーで、リラックスした雰囲気の話ができた」などの感想をいただき、高校生の国際意識の高揚の貢献する良い機会となりました。



### 編集後記

編集担当の潘です。今号で紹介した「多言語教室」は、留学生が先生を務めることで地域の国際交流を促進し留学生ならではの貢献ができる新たな取り組みです。来年度も実施予定で、ますます人気が出ることを楽しみにしています。

編集担当のヤヒヤです。GBCの学生は、日本社会に貢献しながら、将来有望なキャリアを形成するために懸命に努力する熱心な学習者です。私にとって彼らへの指導や日々の交流は、実り多い経験です。GBC一期生の4月に入学した日本人学生たちはこの春卒業しましたが、留学生たちは今年の9月に卒業する予定となっています。彼らの将来の活躍を祈っています。

編集：特任助教潘建秀、特任助教ヤヒヤ・アルマスリ